

平成30年 9月 1日

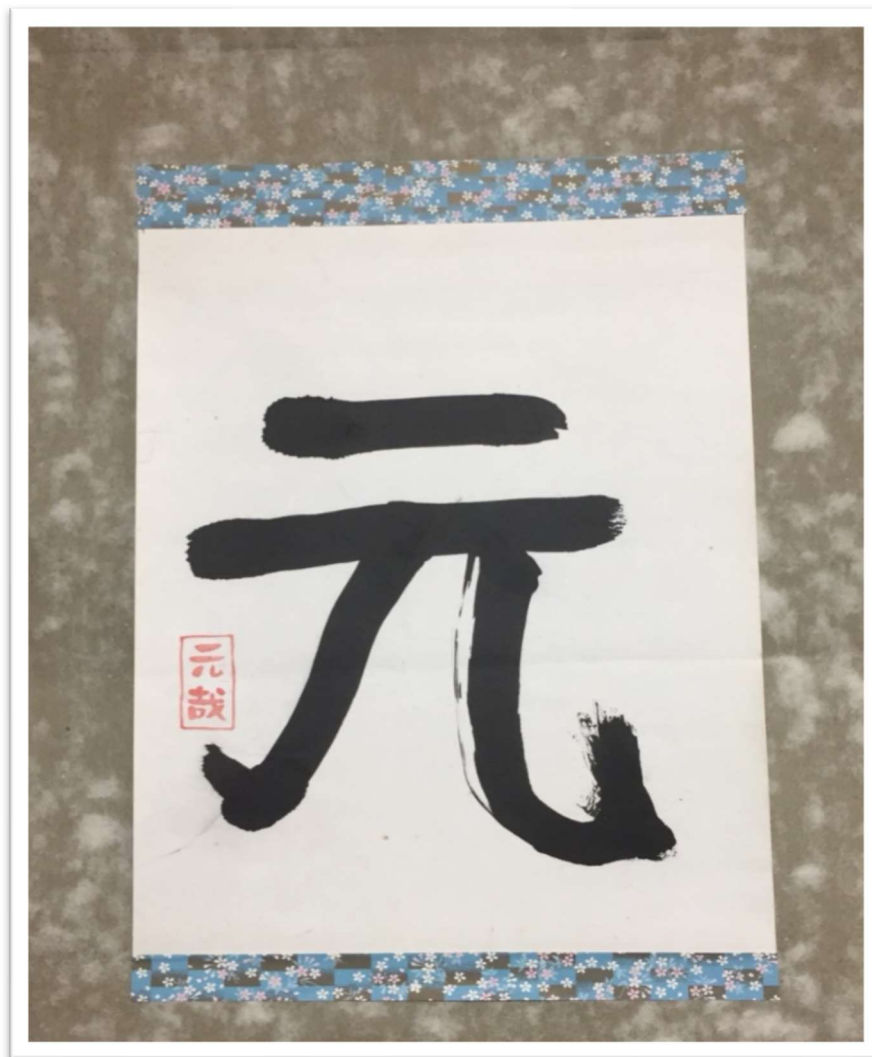
父母の会だより

第38号



豊橋市肢体不自由児(者)父母の会

〈発行責任者〉豊橋市杉山町向井 24-2 中神 達二 TEL/ 0532-23-3217
FAX/ 0532-23-4830 E-mail/rsa34375@nifty.com



「元(はじめ)の一步！」豊橋特別支援学校高等部 尾崎元哉

<https://fubonokai-toyohashi.com>



第 38 号 の 記 事 内 容

1. 豊橋市障害児看護支援事業	1
2. 31年度要望書	2
3. 豊障連行事	
・第17回豊障連大会	3
4. 父母の会行事	
・第1回 Q&A 委員会	4
・第2回 Q&A 委員会	6
・ほいっぷゆり組講座	10
・わいわい話そう座談会	12
5. 善銀行事	
・善意フェスティバル2018	13
6. 愛肢連・全肢連行事	
・愛肢連定期総会	14
・東三ブロック療育訓練会	16
・全肢連東海北陸大会	18
7. 友だち紹介	19
8. 今後の主な行事予定・あとながき	20



新制度

・・・前年度要望事項の改善項目

(みなさんの要望が少しずつ改善されてきています。これからも子どもたちが日々生き生きとリズムのある日常生活を送ることができる共生社会を目指してみんなで行っていきましょう)

豊橋市障害児看護支援事業 (30年4月より実施)

1. 概要

経管栄養、インシュリン注射、導尿などの医療的ケアを必要とする児童・生徒が、保育園、学校等に通っている時に、看護師が保育園等を訪問して医療的ケアを実施する際の費用の一部を給付し、保護者等の負担の軽減を図ります。

2. 対象者

保育園等に通うことができる医療的ケアが必要な市内在住の児童生徒(義務教育まで)

3. 内容

保育園等において訪問看護ステーション等から派遣される看護師が、児童・生徒に行った医療的ケアに要する経費を給付します。(月10回を限度)

4. 費用負担

無料

5. 申請手続きに必要な書類

- (1) 豊橋市障害児看護支援事業給付申請書
- (2) 主治医が作成した訪問看護指示書の写し
- (3) 訪問看護ステーション等が作成した豊橋市障害児看護支援事業実施承諾書
- (4) 保育園等が作成した保育園等における訪問看護実施受入書
- (5) 児童状況書

6. その他

豊橋市障害児看護支援事業を利用する場合は、事前に障害福祉課へご相談ください。

(豊橋市HPより転写) * 該当される方は積極的に活用し、少しでも自分の時間を持てるようにしましょう。

おしりふきも追加されました

(30年4月より)

現在、紙おむつの補助金は年間144千円まで支給されていますが、今年の4月よりおしりふき等(脱脂綿、サラシ、ガーゼを含む)も支給対象に追加されました。補助金上限は従来通りですが、有効に活用していきましょう。

会員の皆さまからお寄せ頂いた市長、議長に対する 31 年度父母の会要望書の原案が出来ましたので紹介します。今後豊障連各団体と調整しながらまとめ要望書として提出していきたいと思います。

30 年 7 月 8 日

31年度要望書

豊橋市肢体不自由児（者）父母の会

1. 医療的ケアに対応できるショートステイおよび放課後等デイサービス、日中一時支援事業の設置・増設をお願いします。

現在医療的ケアに対応できるショートステイについては、まだ一か所しかなく十分ではありません。また、昨年豊川市に重心施設が開所しましたが、重心施設であり、ショートステイの利用は思う様に利用できない状況です。ショートステイ利用は緊急時が多く、自立支援協議会等で協議を重ねて医療機関や福祉施設で対応できるようにご努力頂いていますがなかなか実現していません。

また、放課後等デイサービス、日中一時支援事業の受入施設は増えてきていますが、医療的ケア対応できる施設はごく一部です。同サービスを利用したい児童はますます増加しており、その不足感は否めません。医療的ケアは日常生活に必要な行為であり、それに対応できる諸施設の増設は是非とも必要ですのでよろしく願いいたします。

2. 「おむつ」費補助金の増額をお願い

現在おむつ補助金の支給は年間 144 千円まで可能となっていて、今年度からおしりふきもその範囲に含めていただきありがとうございます。しかし乳幼児と成人とではサイズや一日の必要枚数(尿の量や回数)が違い、乳幼児は余裕含みですが、成人はとても足りない状況です。今後予定される消費税増税を考慮するとさらに足らなくなりますので、是非一割程度の増額（月 1,000 円程度）をお願いいたします。

3. 医療的ケアに対応できる介護職、ヘルパー等の研修費補助対象事業所の拡充をお願い

介護職、ヘルパー等が一定の研修後、吸痰等の医療的ケアに対応できる制度が出来て 6 年になり、29 年度に研修費用の約半額 80 千円の補助金が助成されるようになり感謝申し上げます。しかし対象事業所がヘルパー事業所のみでまだ十分ではないと思えます。通所事業所として生活介護や日中一時支援、放課後等デイ事業所等に従事し、医療的ケアに前向きに対応したい意欲のある方も多く、医療的ケアに対応できる介護職等の底上げを図るうえでも対象事業所の拡充をお願いいたします。

4. 地元小学校に通学する障害児に対する支援員増員をお願い

近頃地元小学校（通常または支援学級）で勉強している障害児が増加しています。しかし担任の先生が一人の場合が多く、障害児の支援まで手が回らない場合が多くあります。学校側でも保護者との面談、授業内容別による支援等いろいろ考えて対処してくれていますが、障害児がそれぞれの学校生活を安心して過ごせるように支援員のさらなる増員をお願いいたします。

5. 小学校のバリアフリー化、トイレの洋式化及び多目的設置をお願い

近頃地元の小学校に通う身体障害児が増加していますが、小学校は段差や階段が多く、車いすや歩行器利用者は大変不便な学校生活を送っています。個々に少しずつ対処し改善されていますが、根本的な解決には至っていません。

また小学校のトイレは狭く劣悪で介助するのも大変な場合が多いです。県内肢体特支学校ではトイレの洋式化、多目的の設置を平成 29 年度から 5 年計画で実施しています。バリアフリー化やトイレの問題は大改造を伴う場合が多いと思えますが、出来る所からお願いいたします。

【豊障連行事】

第17回豊障連大会 参加報告

平成30年6月23日（土）

あいトピア 3階多目的ホール

良い天気にも恵まれたなか、第17回豊障連大会が6月23日にあいトピア3階多目的ホールで開催されました。多くのご来賓と豊障連各団体の会員の出席で開催されました。父母の会からは、12家族17名の参加がありました。

最初に豊障連山下会長のあいさつがあり、引き続きご来賓から祝辞をいただきご来賓紹介へと進みました。

大会は山下会長から評議員会報告があり、平成29年度事業報告、活動報告、総括、決算報告、さくらピア管理運営状況について説明がありました。さらに平成30年度豊障連役員、事業計画、予算の議案が承認され大会前半は終了しました。

大会後半では、記念講演「すべての幸せを感じるために～やまなみ物語～」と題して、やまなみ工場の施設長 山下完和（まさと）氏から、写真を中心にした分かりやすい内容で話をいただきました。

やまなみ工場は、施設や職員が考えた「作業」をするのではなく、「本人らしさ」を「表現活動」を通して「作品」にする施設（生活介護・就労継続B型）と説明がありました。

本人の特性を「こだわり」としてマイナスに受け止めるのではなく、「個性」として受け止め「本人らしさ」が一番表現できる方法を探す。「強制」ではなく可能性を見つけるまで「待つ」とも話されていました。

この講演を聞いて、多くの方が感動し、新たな気づきを得たのではないかと思います。

中根 淳

【父母の会行事】

平成 30 年度 あゆみ学園Q&A 第 1 回目報告

平成 30 年 5 月 16 日実施

今年度も 5 回 Q&A を開催します。

今回は第 1 回目という事で、全クラスを対象に行いました。

2 回目以降は各クラスにアンケートをとり、テーマを絞って行う予定です。

最初に、中神会長より挨拶、続いて先輩母より、子供の状態や生育歴・あゆみで頑張った事などを含めた自己紹介、その後、質疑応答が行われました。

最後に、中神会長よりお話、父母の会の PR と、7 月あいトピアにて開催の座談会のお知らせもさせていただきました。

《中神会長より》

- ・おむつの支給について市に要望した結果、「紙おむつ等」の中に「おしりふき」も含まれることになりました。
- ・はしかが流行しています。日本では、3~4 年前に消滅したと言われていましたが、海外からの帰国者などからうつります。はしかを侮らないようにして下さい。
- ・お母さんは、明るく元気に楽しく。子供に嫌な顔を見せると、子供が感じ取って暗くなってしまいます。子供に楽しい思いをさせてあげてほしいです。そして、お父さんの協力を得てほしいです。

〈中 2 男子・豊橋特別支援学校・ダウン症〉

あゆみ学園→高山学園→第二青い鳥学園→豊橋特別支援学校

ダウン症の合併症が重く、生後 1 年は病院から離れられなかった。

歩行不可。

あゆみ学園では休まず通園でき、仲間もできた。

結果が出ず諦めかけても頑張ってもらいたい。

〈中 1 男子・豊橋特別支援学校・原因不明の発達遅滞〉

あゆみ学園→豊橋特別支援学校

1 才の時てんかん発作(ウエスト症候群)発症。その後、年中の時再発。

現在は毎日 3~4 回発作がある。薬では抑制できず、手術を 2 度(脳・機械を入れる)受けた。

あゆみ学園入園時は、市外より引っ越して来た直後だったため、最初はアウェイだったが、

他のお母さんたちと話すのが楽しくなった。風邪も引かず休まず通園できた。続ける事が大事。

入園当初は泣いてばかりいたが、次第に泣かなくなりリハビリも受けられるようになった。

〈小5男子・豊橋市地域小学校の通常学級・左腕まひ〉

保育園→地域小学校

あゆみ学園には通園していないが、就学に向けての話ができる。

地域の小学校で友達がいる。安心感がある。

障害・進路は違っても、父母の会でつながりがある。

〈小4男子・豊川市地域小学校の特別支援学級肢体クラス・3C症候群〉

あゆみ学園→幼稚園→地域小学校

あゆみ学園では、病気は違っても障害を抱えた子のお母さんと知り合い、

一緒に子育てができた。今でも繋がっており、一生付き合っていきたい。

出会った縁を大切にしてほしい。

自分では怖くてやらせられないようなことを、あゆみ学園ではやらせてくれた。

経験を通して、できること・できないことが分かった。

Q1. 股関節亜脱臼している。かかりつけ整形外科で、青い鳥での手術の話が出たので、それについて知りたい。

→ 家族の考えや子供の年齢などもあるので一概には言えないが、股関節手術後6ヶ月の入院が基本。

単独入院の場合は、子供が入院生活に慣れるため術前1ヶ月からの入院になることが多い。母子棟で家族が付き添うことも可能。

Q2. 来年度小学1年生、24時間酸素。地域の小学校に入学したいが、学校でどんなことを相談したらよいか？

A2-①. 先生は知らないなので、学校生活でどうしたらよいか、きちんと説明すべき。最初から全ては無理だが、こういう対応をしてほしいと1から説明する。

A2-②. 着脱・排泄など、できること・できないことを明確に。

「これを使えばここまでできる」というように説明する。

本人を連れて行き、プールや体育館などを回り、必要なものを確認し摺り合わせをした。

A2-③. 前年の6月に、市の教育相談に行った。

2年前からリハビリの調整をした。

年長で学校に連れて行き、通常学級の授業を体験した。

入学前に細かな摺り合わせをしたが、入学後にも問題が出てきた。

全体での質疑応答は以上の内容です。

その後「個人的にあのお母さんに話を聞いてみたい」、「こんな内容の質問はどのお母さんに聞いたらいいんだろう？」というあゆみ学園のお母さん方の要望もありましたので、それにお応えする形での時間も設けました。

[父母の会行事]

平成 30 年度 あゆみ学園Q&A 第 2 回目報告

平成 30 年 7 月 4 日実施

今回は、はな組のお母さんに事前にアンケートをとり、「進路」にテーマを絞り開催しました。中には、導尿の必要なお子さん、蒲郡のお子さんがいらっしゃるのと、導尿があり地域の小学校に通われた子のお母さん、蒲郡在住のお母さん、その他、豊橋・豊川両方の特別支援学校に通われた子、高山学園に通われた子のお母さんにも参加いただきました。お母さん方からお話をいただいた後、全体での質疑応答、今回はさらに進路別に分かれ、少人数での質疑応答の時間も設けさせていただきました。

.....

<聾学校外来保育→あゆみ学園外来保育→あゆみ学園通園→幼稚園→現在：豊川市地域小学校 4 年・男子>

・病名：3C 症候群

あゆみ入園当初は座位もとれなかったが、過ごすうちに歩行・会話も可能になった。保育園は、加配の付く子が多く、自分の子は預かってもらえない事が 2 月に分かった。あゆみの先生に幼稚園を勧められ、子供を連れて 3 箇所を見学に行った。最初の幼稚園の先生に「障害が重すぎる」と言われ驚いた。「あゆみで療育を受けているのに、なぜ幼稚園に？」とも言われたが、何も答えられなかった。一歩外に出たことで、子供の見られ方が客観的に分かった。自分の子供は何ができて何ができないか、を明確に説明できるように考えた。また、リハビリの先生とも相談しながら、「できない」ではなく、工夫してできる方法を考えた。それが、幼稚園や地域の小学校の入園入学に繋がったと思っている。どこに進んだら子供が楽しめるかを考えたらよいのではないかと思う。

<あゆみ学園→保育園→豊川市地域小学校→現在：豊橋特別支援学校中 1・女子>

・病名：二分脊椎

生まれた日に手術。水頭症・脊椎の手術を受けた。
発達はすべてが遅かったため、保健師が来てくれていた。
年少時にあゆみ入園。4 才でも二語文が出なかった。リハビリを受けて歩行可能になった。園庭開放でいろいろな園にアピールした。入園できるかどうかは、園ではなく市の判断。1 1 月か 1 2 月頃に、「入園できる事になったので、園を選んで下さい。」と言われた。
導尿があり、給食の前に行っていた。友達も優しく、楽しく過ごせた。運動会もできる事をやらせてもらった。
地域の小学校へは、年中の終わりから行き、バリアフリーの工事などをしてもらい 6 年間通った。中学からは特別支援学校へ通っている。

<あゆみ学園→豊橋特別支援学校→現在：豊川特別支援学校小5・男子>

・病名：ダウン症候群

生まれてすぐに救急搬送、手術を受けた。2才半まで入院生活。

在宅時は、あゆみから幾田PTの訪問があった。

就学時、豊川特別支援学校には入学できず豊橋特別支援学校に入学した。1年生の秋に歩行可能になり、4年生から豊川特別支援学校に通っている。

<あゆみ学園→高山学園→現在：くすのき特別支援学校小3・男子>

・病名：ダウン症候群

生まれてしばらくしてから手術を受け、酸素を付けた。

2才前に酸素を外れ、あゆみに入園したが、1年目は下の子がいてあまり通えず、

2年目は、寝ている子の横を走り回っていたため、3年目はないかなと感じた。

保育園は諦め高山学園に入園し、2年通った。脱走癖があったが良くなり、できる事が増えた。

学校は楽しく、デイサービスも楽しんでいる。

<あゆみ学園→現在：豊橋特別支援学校中2・男子>

・病名：原因不明の発達遅滞

あゆみ通園時は、四つ這いで動き回っていた。その後、歩行器での歩行、現在は歩行可能になった。小学部入学時は歩けず、3年生でつたい歩きができるようになった。

現在は歩行可能だが、手を引いてあげないとどこかへ行ってしまう。

全体での質疑応答

Q. 行事は親が付いて行くのか？

A-①. 地域小学校→校外学習などで長距離を歩くこともあったが、子供がみんなと行きたい気持ちが強く、親の付き添いなしで参加。自宅待機していたが、呼び出しはなかった。

A-②. 保育園→車椅子で行き、先生が1人付いてくれた。

地域小学校→先生によって付いて来て欲しい欲しくない、いろいろ。

1・2年生の遠足は、心配だったので付いて行った。5年生の野外活動は、山奥で何かあってもすぐに迎えに行けないため、やめた。6年生の修学旅行は、担任の先生に「付いて来ないで」と言われた。子供も「お友達との話を聞かれたくない」とのことで付いて行かなかったが、先生が随時写真などを送ってくれた。

先生次第。常に話し合いはした。

A-③. 地域小学校→その時の支援学級のメンバーにもよる。先生の手が足りていれば、付いて行かなくてもよい。

A-④. 豊橋特別支援学校→酸素を付けていた時は、一緒に付いては行かないが同じ建物内にはいた。

A-⑤. 高山学園→単独通園だが、月に一度保護者会があったり、クリスマス会で親の出し物があったりと園へ行く機会は割と多かった。

進路別での質疑応答

< 豊川地域小学校 >

Q. 学校の先生は、どこまで介助をしてくれるのか？

- A. 豊川の小学校は介助員が付いてくれる。
入学前に、付けてほしいと教育委員会に伝えるべき。
豊川は、市が厳しい。テストがある。

< 地域の保育園 >

Q 1. 保育園を目指す場合、何がどこまで出来たらよいか？

- A 1. 一概にこれが出来ないとダメ!!というラインはない。出来ない事も、その子に合った支援策を提案するなどし、園側とよく相談してお互いに納得する事が大切。
例えば、①その子に合ったフォークやスプーンを使えば食事ができる ②靴のかかとに輪を付ければ自分で履ける など。

Q 2. あゆみで母子通園して、保育園で急に分離しても大丈夫か？

- A 2. もちろん、それまでに何度も体験させて慣れさせよう。一年ぐらい前から体験させると、園の雰囲気や行事が分かる。

Q 3. 高山学園と保育園で悩んでいます？

- A 3. 同じ母子分離でも高山学園は療育施設で、保育園とは違う。自分の子がどちらに向いているか判断する必要がある。健常児と過ごすことで伸びる子か、療育した方が伸びる子か？

Q 4. 校区の小学校に入学させたいが、校区の保育園を選ぶべき？

- A 4. 校区の保育園がその子に合い、校区の小学校に入学できれば保育園からの友達と小学校へ行けるので心強い。しかし、校区外の園から校区の小学校へ行ったとしても、十分友達はできるので心配はいらない。

< 特別支援学校 >

Q 1. リハビリはどこへ行っているか？

- A 1 豊橋市こども発達センターの子が多い。青い鳥などへ行っている子もいる。卒園時に、あゆみの先生と今後のリハビリについて話し合う機会がある。

Q 2. 学校でリハビリはあるか？

- A 2. リハビリはないが、「からだ」「自立活動」という時間はある。学校にリハビリの先生は居ないので、授業の一環として（療育ではない）。

Q 3. 手が不自由で、話せるが意味の分からない言葉ばかり話す。豊橋特別支援学校でそのような子はいるか？迷惑ではないか？

- A 3. 全く迷惑ではないと思うし、そのような子もたくさんいます。

<高山学園>

Q1. 山登りがあると聞いたがどのような感じか？

A1. お子さんに合わせて距離が違う。母も卒園遠足で登る。だんだん歩けるようになり、距離がのびて楽しかった。

Q2. 体力がない子、コミュニケーション苦手な子はいるか？

A2. そのような子ほど高山が良いのでは、と思う。体力が付く。
言葉でのコミュニケーションが苦手でも大丈夫。身振り、手振りのジェスチャーの子が多い。クラスの中でおしゃべりする子もいればしない子もいる。

Q3. オムツは外れていなくても大丈夫か？

A3. 外れていなくても大丈夫です。就学で支援級を目指すならオムツは外れていた方がよい。

Q4. 給食はどのように食べますか？

A4. 入園後2週間は母子通園です。1対1は難しいが、その後は先生が見てくれる。あたりめで噛む練習をすることもある。

Q5. お昼寝はありますか？

A5. プールの時期は全員ある。他の時期に寝ている子もいる。

*話が途中になってしまったこともあり、7/7の座談会へお誘いして5家族来ていただきました。

このマークを知っていますか？



「ヘルプマーク」です

援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方々(義足や人工関節を使用している方、妊娠初期、発達障害、難病の方など)が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたマークです。

*豊橋では市役所障害福祉課・健康増進課や、さくらピアで配布しています。ご家族や代理人による受取も可能です。



平成 30 年度 ほいっぷゆり組講座 報告

平成 30 年 5 月 25 日実施

今回は、ゆり組に通園するお子さんのご家族 4 名と、理学療法士・看護師の方が参加して下さいました。

父母の会からは、中神会長と児童部スタッフ 3 名が出席しました。

初めに、お子さんと一緒に自己紹介をしていただき、その後、和やかな雰囲気の中、質疑応答が行われました。お子さん全員が年長児、来年度豊橋特別支援学校への就学を予定されているとのことで、学校生活についての質問が多くありました。

学校給食について



Q. どのような形態があるのか？

A. 前期食・中期食・後期食・準備食・普通食がある。

(スタッフが持参した写真を見ていただきました)

Q. 食事の時に寝てしまうが、その場合はどうするのか？補食などを持参してもよいか？

A. 給食は 13:30 で片付けられてしまう。今返答できないので、学校の先生に確認する。

→給食以外の栄養はケースバイケース。個々に話を聞かせてもらってから判断になる。

A. とても少食なため、以前補食を持参してよいか先生に確認したところ他の子の目もあるとの理由で断られた。

Q. 抱っこで食べさせてもらうことはできるか？

A. 実際にやってくれている。

Q. 入学前に学校の食堂に見学に行ってもよいか？

A. 学校側はとてもオープンなので、行ってよいと思う。

Q. 自分で食べることににおいて、成長が止まってしまっているように思うが、どうしたらよいか？

A. あゆみ在園時に、持ち手を太く改造したフォークを使い始めた。フォークに食べ物を刺しておく、自分で口に運ぶことができるようになった。

福祉サービスについて

Q. ヘルパーは利用しているか？入浴させている間、部屋に残っている下の子が心配。入浴介助を利用したい。

A. 小学 3 年から、父親が仕事で不在の時に利用している。ヘルパーが来てくれるのをとても楽しみにしている。ヘルパーもとても可愛がってくれている。

- A. 平日 7:30～、朝の支度をお願いしている。3つの事業所を併用している。
腰を痛めたこともあり、6月からは入浴介助も利用する予定。
最初は敷居が高かったが、兄弟の学校行事の時などはイレギュラーに対応してくれ、とても助かっている。
- A. 小さいうちから、ヘルパーに慣れていくことも大事。



その他

Q. オムツは何を使っていますか？すぐに漏れてしまうのですが。

- A. シルバーアテンダさんに「オムツフィッター」さんがみえます。一度相談に乗ってもらうのはどうでしょうか。

Q. 学級に先生は何名程みえますか？

- A. 基本的には重複クラスは3人に1人の担任が付きます。
それ以外のクラスは4人に1人です。
中1の息子のクラスは5人の生徒に2人の担任、1人の副担任、1人の介助員が付いてくれています。

Q. きょうだい児に障害の事をどう伝えていきますか？

- A. きょうだい児さんの性格や、家庭でのタイミングもあると思うのでデリケートな問題。
知りたがっているとのことなので、病院の先生（きょうだい児さんも病気で頻繁に通院しているとのこと）から伝えてもらうのも一つの方法かもしれない。

後日、ゆり組さんより感想を頂きました。主なものを掲載させていただきます。

- ・年長なので、具体的に聞きたいことがあったものの、話を聞いて学校の様子が分かり安心しました。
- ・あゆみでの座談会（Q&A）は人数が多くて聞けないこともたくさんあったが、今日の会では気軽に相談できる距離感で良かったです。
- ・学校の先生の人数が思っていたよりも多く安心しました。
- ・自分の子にもう少し近いお子さんの話も聞けるとよかったです。
- ・特別支援学校見学前の実施でしたが、見学後の方が良かった気がします。

ゆり組講座は年3回あり、その内の1回を父母の会に託して下さっています。
今後も少しでも未就学児の親御さん方とお話しさせていただければと思います。

父母の会児童部 Q&A 委員会特別企画
「わいわい話そう座談会」 報告

平成 30 年 7 月 7 日（土）実施
（於：あイトピア）

今回は久しぶりにざっくばらんに悩み事や困り事を語り合う座談会を企画しました。特に年齢の低いお子さんをお持ちの親御さんにたくさん参加してもらおうと声掛けをしました。参加者の募集に少し苦勞しましたが、最終的に 15 組の方にお集まりいただきました。参加者のお子さんやきょうだいさんもたくさん同伴されましたので、13 名の託児ボランティアさんにご協力いただき、安心して話し合いができました。

以下が参加者のお子さんの内訳です。

・あゆみ学園（外来含む）	7 名
・高山学園	1 名
・地域小学校	2 名
・豊橋特別支援学校中学部	3 名
・くすのき特別支援学校中学部	1 名
（にじの子相談室相談員平井先生にもご参加いただきました）	

参加者のみなさんに自己紹介をしていただいた後、テーマごとに 3 つのグループに分かれ、中神会長、後藤副会長はじめ父母の会スタッフ 10 名を中心に各グループで質問や体験談などを語り合いました。

前半は、以下の 3 つのテーマで、様々な話が出ました。

① 豊橋特別支援学校について

⇒あゆみ学園卒園後のリハビリのことや、学校での訓練について、また習い事の話が出ました。生活面での将来的な質問（住宅改修や入浴介助など）、経験談を交えながら話し合いました。

② 高山学園、くすのき特別支援学校について

⇒あゆみ学園卒園後、地域の園に通い、その後地域の小学校に通いたいが、高山学園へ通ってから地域の園に通った方がいいのかどうか悩んでいる方の話を聞き、経験者の体験や思いを話して参考にしてもらった。

③ 地域の園・学校について（豊橋・豊川）

⇒具体的な園の相談などがされました。評判なども聞くことができたようでした。また、周りの助言に迷いすぎず、親の思いで進路を決めることも時に大切という意見もありました。

後半は少しテーマを変え、経験談や知っていることとお話ししました。

① 就学について

⇒地域の小学校へ入るためのアドバイスを、平井先生を中心に伺いました。遅くても年長さんの夏み前までに相談をしたほうがいいとのことでした。スロープやトイレの設置など早ければ早いほど対応してもらえ可能性が高いようです。

② きょうだいについて

⇒きょうだいの学校行事等に障がい児を連れて行って、周りに知ってもらった方がいいか？それともきょうだいの気持ちを考え、隠していてもいいか？…悩んでいる方に対して、どちらも間違っているのではないが、周りに知ってもらうためには、途中からより早いうちから連れて行った方がいいのでは？というアドバイスがありました。

きょうだいの学校の PTA 役員を引き受けることも、保護者同士の関係を築くために有効ではないか？という意見もありました。

③ 福祉サービスについて

⇒親がいなくても生活していけるようにするために何が必要かという長期的な話から、就業についてや休日の過ごし方など、今抱えている悩み等を話し合いました。

どのグループも活発に意見が飛び交い、あっという間の2時間でした。

最後に中神会長より、「お母さん方の生の意見を聞くことが何より大事。父母の会には相談できる先輩お母さんたちがたくさんいるので、悩んでいることや疑問に思っていることがあれば一人で悩まずどんどん声をあげてほしい」とのお言葉をいただきました。

参加者からは、「楽しく話ができてたくさんのお情報を得ることができた」、「他の方の疑問点を聞いて、自分では気付かなかったことを知ることができて勉強になった」、「思い切って参加してよかった。また参加したい」などの声を聞くことができました。

また、改善点などスタッフ間で話し合い、次回開催に繋げていきたいと思っております。

【善銀行事】



善意フェスティバル



平成 30 年 5 月 27 日 (日)

今年も善意銀行さんの主催で豊橋動植物園「のんほいパーク」に「善意フェスティバル」が開催されました。

今年は総勢 2,113 名の参加。父母の会としては 31 家族 80 名の参加でした。

豊橋中央高校と藤の花高校の学生さんがボランティアとしてついてくださり、楽しい時間を過ごしました。

当日は日差しも強くとても暑い一日でしたが、みなさん元気に過ごされていました。

ゲームコーナーを楽しんだり、つくたてのお餅やお団子、かき氷などでおなかも満たしていました。

今年から福祉作業所の販売ブースも加わりクッキーやパンも買うことができました。

毎年恒例の行事となっていますが、年々様々な点を改善して下さり、主催者やボランティアさんのお陰で楽しく過ごすことができました。

今年から雨天中止ということでしたので、天気にもぐまれ楽しく過ごすことができ本当に良かったです。

みなさんありがとうございました。

また参加者のみなさんもお疲れさまでした。

【愛肢連行事】

愛肢連定期総会

平成 30 年 6 月 16 日

田原市文化会館において、初めての愛肢連定期総会が行われました。午後 1 時半より総会が始まり、援護功労表彰、自立表彰、感謝状贈呈式の後、ご来賓の皆様にもご祝辞を賜りました。

記念講演では田原市出身の寺島祥史氏をお呼びし、『自分らしく生きる』のテーマで講演していただきました。野球少年で健康だった子供の頃から、交通事故の後遺症で障害を負ってからの苦悩、その後障害を乗り越え、現在は仕事や趣味の音楽活動などに、多忙な日々を送っている貴重なお話を聞けました。講演後には、上手な歌も披露してくださり、元気をもらえました。

ありがとうございました。

田原市肢体不自由児者父母の会



講演 寺島祥史氏





30年度愛肢連総会にて次の方々が表彰されました



受賞誠におめでとうございます

□自立表彰

増田利由美、堀内麻里、芝原良平、森貴広、大場加津也

□感謝状

中神達二、鈴木智江子

(敬称略)

当会の中神会長は平成10年から20年間愛肢連の理事・役員として福祉の向上を目指し活動されてきました。平成21年には会長に就任され「住み慣れた地域で共生社会の実現をめざして」というテーマを掲げ、平成26年にこの豊橋の地で父母の会全国大会を開催し、全国にその思いも届き、大会は成功裡に幕を閉じました。

また、鈴木副会長は平成15年より15年の間愛肢連理事を経て副会長として中神会長をサポートしつつ会の運営に力を注いで来られました。

この定期総会をもってお二人は愛肢連の会長・副会長を勇退され、これまでの功績が称えられ感謝状が贈られました。

これからも当会においては中神会長と鈴木副会長は役員として会の繁栄に力をそそいでください。



感謝状 中神



感謝状 鈴木



【愛肢連行事】

東三河ブロック療育訓練会

(於 グリーンホテル三ヶ根 30.7.22~23)

毎年恒例となっている療育訓練会、今年は総勢 76 人が参加されました。ボランティアさんにお手伝い頂き大浴場での入浴の後、災害ボランティアコーディネーターの方々から親子研修会として、「大災害！！その時役立つ知恵袋」と題した、講話と大型紙芝居をやってもらい、みんな感心して見入っていました。

また、愛知県で 7 月 20 日から配布が始まったヘルプマークを障害児者に配布し、ヘルプマークの活用方法をお知らせし、地域においてマークの意味がしっかりと広まるようみんなに徹底しました。

その後大広間での夕食をかねた情報交換会。障害を持った子どもたちによる挨拶、司会進行等、みんなテキパキと役をこなしスムーズに進行。自慢ののどを披露して盛り上がったカラオケに満足顔です。食事後、場所を移動しての懇親会もいろいろな話に盛り上がりました。

翌朝は朝のおいしい空気をいっぱい吸い込んで「のんほい体操」。手足を十分に伸ばしすがすがしい気分になりました。その後周辺散策に出かけたご家族もありました。朝食後、適宜開散しました。みんな楽しめたかな？

NS

感想文



溽暑の中、みんなが心待ちにしていた宿泊行事が今年も開催されました。私たち障がい者は、なかなか旅行をするのが難しい状況にあるためこういった催しは非常に有り難いと思います。

毎年使わせて下さるホテルの方々にも感謝しています。

今回はボランティアさんの介助での入浴は、2 度目という事もありスムーズに運び、身も心も満足の入浴となりました。

食事でもテーブル席で出来たため、足を擦ってはいけないと長ズボンを用意していたのですが、履き替えなくても良く助かりました。

また、味も一昨年と変わらず美味しく、特に朝食の焼鮭はお気に入りです。

カラオケの時、モニターが見えなかった点が惜しかったですが、そこはどうにもならないところなのでこちらが対策を考える点ですね。

来年の参加はどうか分かりませんが、まだこれから多くのイベントがあります。皆さんと一緒にできるものもあると思いますので、宜しくお願い致します。今回も本当にありがとうございました。お疲れ様でした。またお会いしましょう～！

伊藤 有希





三河ブロック療育訓練会
さわやかレクリエーションの感想文



7月22日、23日に三ヶ根グリーンホテルで行った「さわやかレクリエーション」に参加しました。今年は1人で参加させていただきました。

お風呂はボランティアさんに見守ってもらい入りました。他の仲間と入るお風呂は楽しかったです。

今年の研修会は防災の紙芝居で、その話の中に岩屋観音が出たのですが、僕の家から近いので身近な話だなと思いました。参加賞の中には、ヘルプマークがあって外から見えにくい障害のある人がつけるマークですと言われ、これから僕は出かける時に着けよう思いました。

それから夕食（懇親会）で、僕は懇親会の司会をしました

一緒に行った友達ともカラオケをしました。なかなか一緒にカラオケできない友達とカラオケができて楽しかったです。あと仲間でお酒を飲みました。お酒を飲みながら仲間と会話をしたのが楽しかったです。2日目はホテルの前でラジオ体操をしました。朝の外でやるラジオ体操は気持ち良かったです。また来年も参加したいです。

松井俊裕



カラオケ 🎵



防災をテーマとした紙芝居

第 53 回東海北陸肢体不自由児・者父母の会連合会「三重大会」

開催日 平成30年6月2日（土）～3日（日）

於 ホテル&リゾート伊勢志摩



豊橋市 奥平久美子

今年の東海北陸大会は伊勢志摩での開催ということで、名古屋駅で集合して近鉄で会場まで向かうグループと、自家用車で向かうのグループ二つに分かれて、伊勢志摩を一望できる「ホテル&リゾート伊勢志摩」へ集合しました。

今回の三重大会には中神会長のほか28名の参加となりました。

三重県肢連の八田副会長の開会のことばで14時30分より第一部の式典がはじまり、三重県肢連鈴木会長、全肢連清水会長の挨拶のあと、来賓の方よりご祝辞をいただきました。ちょうどその日に伊勢えび祭という、海の幸への感謝と豊漁、安全を願うお祭りが開催されていたという事で、はっぴ姿で挨拶をされた志摩市長様のおかげもあり、和やかな雰囲気となりました。そして次回開催県、岐阜県肢連日比会長の挨拶で第一部が終了しました。

第二部は「住み慣れた地域で、共生社会の実現！」をテーマに掲げ、3名の方の講演を聞かせていただきました。「社会福祉法人 聖マッセヤ会 施設長」池田氏より『共に生きる』～安心して暮らせる終の住み処を目指して～ 「特定非営利活動法人 なちゅらん 理事長」石原氏より『自分らしく生きたいという思いをかたちに』「三重県健康福祉部障外福祉課 課長」森岡氏より『みえ障がい者共生社会づくりプラン』についてそれぞれご講演をいただきました。親亡き後に重度心身障害者が安心して暮らすにはどうしたらよいか。重度の障害を持っていても工夫しながら健常者と対等にスポーツをしている人もいます。といった内容のとても濃い講演でした。

それぞれ休憩や入浴を済ませた後、第三部の情報交換会がコカ・コーラ ボトラーズジャパン(株) 日本法人営業部部長近本氏の乾杯の挨拶とともに開催されました。他市他県の方と色々な話ができて、途中のアトラクションでは手話を取り入れたダンスグループ、フィットネス クラブ アミーのパフォーマンスも披露して頂きとても賑やかで盛り上がった会となりました。

2日目は朝食を済ませた後、自由研修という事で、愛知県のメンバーは伊勢神宮へ行きました。

来年は、6月8日～9日に岐阜県で開催されます。



友だち紹介

NO.19



河辺 陽奈子
(こうべ ひなこ)

【学校名】
豊橋特別支援学校
中学部 1年生

【好きな食べ物】
マヨネーズと魚料理。

【得意なこと】
いっぱい声を出して人の気をひくこと。

【みんなに言いたいこと】
人と触れ合うのがすごい好きで、毎日学校が楽しいです。



片山 陽太
(かたやま ようた)

【学校名】
豊橋特別支援学校
中学部 2年生
【学校の様子】
担任が可愛い先生なので毎日ニコニコ登校。

【好きな食べ物】
パステルのプリン。少し苦いカaramelも大好きです！おはぎが好きだったのですが、食べ過ぎて最近はあまり食べません。

【みんなに言いたいこと】
今年の2月から就寝時 在宅用呼吸器トリロジー100plusを使用しています。以前は二酸化炭素が出せず、苦しくて夜中何度も起きる事が多かったのですが、今は熟睡出来ています。学校でも、最近は眼力が出てきたねと、言われます。



金子 耀成
(かねこ ようせい)

【学校名】
豊橋特別支援学校
中学部 3年
訪問クラス

【好きな事】
絵本を読んでもらう事。どんなに眠たくても「絵本見る？」の一言で目がパッチリ覚めません。今はティラノサウルスシリーズにはまっていて10作ほど制覇しました。オススメは第1作目の『おまえうまそうだな』です。

【今後の目標】
中学3年なので修学旅行、卒業式といった節目の行事に体調良く参加したいです。

【みんなに言いたいこと】
寝たきりで感情表現も乏しい僕ですが、いつもみんなを優しく見守る癒し系男子です。訪問クラスで皆さんと会える機会は少ないですが、行事等で会えたら声をかけて下さいね。



前川 実希
(まえかわ みき)

【通所施設名・年齢】
しろがね、ふくふく、
シーサイド吉前・29歳

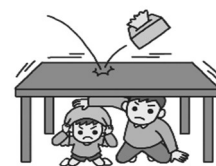
【好きな事】
CD,DVD鑑賞。コンサート。ドライブ（お出かけ）

【得意なこと】
出かける、食べる、美味しいなどの言葉は聞き逃さない地獄耳。休日はチョット遠出して買い物するのが楽しみ。

【みんなに言いたいこと】
生活介護の通所が大好きでお友達や職員さんとの会話が楽しいです。家庭の事も全部話してしまい筒抜けですが、今のまま楽しく笑って過ごしたいです。



<今後の主な行事予定>



- 9月12日(水) ○父母の会Q&A委員会・あゆみ学園**
- 9月23日(日) 野外訓練会・豊橋総合動植物公園**
- 9月29日(土) さくらピア避難所体験・さくらピア**
- 10月 8日(月祝) ○ウェルネス2018・豊橋市総合体育館**
- 10月27日(土) 愛肢連わいわいカーニバル・岡崎市中央総合公園・武道館**
- 10月28日(日) 豊障連体育祭・さくらピア**
- 11月11日(日) ボランティアのつとめ・さくらピア**
- 11月14日(水) ○父母の会Q&A委員会・あゆみ学園**
- 11月18日(日) 豊障連文化祭・さくらピア**
- 12月 1日(土) ○県心身協福祉大会・愛知県社会福祉会館**
- 12月23日(日祝) クリスマス会・あイトピア**

○印の参加募集はありません



※予定は順次ご案内いたします

<あしがき>

・今回の表紙は、尾崎元哉さんの作品です。☆元気の「元」僕の名前の一文字です☆と、コメントいただきました。素敵な作品をありがとうございます。

・「父母の会ふれあい短期介護支援」「父母の会入院付添い支援」を活用しましょう。短期介護支援や入院付添い支援は緊急時や入院時に見てもらう人がいないとき、同居以外の親族等にみてもらい、その介護支援費用(1日4時間以上・5,300円)のうち4,500円を父母の会で負担するものです。使ってみたく思われた時、分からない事があった時には遠慮せずにご相談ください。会員の皆さまのご意見、ご要望を受けてより利用しやすい事業にしていきたいと思っています。

- ・父母の会相談員は中神達二、鈴木智江子、後藤久代、星川広江、磯田周平、尾崎博美、奥平久美子です。悩み事・心配な事、何でも気軽に相談してください。
- ・原稿や感想文を寄せていただいた方には、クオカードまたは図書券をプレゼントしています。積極的に投稿をお願いします。
- ・新会員も大募集中です。隣近所でまだ父母の会に入会されていない方がありましたら是非ご紹介ください。手帳をお持ちであれば障害の種別は問いません。
- ・年会費は¥2,000です。年会費は振込みも出来ます。年会費がまだ納めてない方は下記の振込先に振り込みをお願いします。(できるだけ同封しています振込用紙をご使用ください)

ゆうちょ銀行 口座番号 00840-1-135126 加入者名 豊橋市肢体不自由児(者)父母の会
ゆうちょ以外の銀行等からの振込の場合 ゆうちょ銀行:店番 089 口座番号 0135126 口座名:同上

<お願い>

・いろいろな行事について出席のご返事のあと変更になった場合は 中神 まで電話または FAX かメールにてご連絡お願いいたします。

TEL : 0532-23-3217

FAX : 0532-23-4830

E-mail : rsa34375@nifty.com